



いちじくの話



みなさん、こんにちは。今日はいちじくのお話をします。

いちじくは8月から11月が旬^{しゅん}の果物です。原産地はアラビア南部で、1630年ごろに中国から日本に伝わったと言われています。当初は薬用として栽培^{さいばい}されていましたが、生産量が増えるにつれ、食用としても食べられるようになりました。

愛知県はいちじく^{とくちょう}の生産量が全国2位で、果実が大きいことが特徴です。実の中には無数の小さな花をつけます。果実を半分に切ると赤いツブツブがたくさんつまっています。食べるときのプチプチした食感は、花の部分によって生み出されています。

いちじくに含まれているペクチンは食物繊維^{せんい}の一つで、ジャムを作るときにとろみをつける役割があります。今日の給食では、愛知県産のいちじくを使ったいちじくジャムが出ます。パンに塗^ぬって食べましょう。

これでお話を終わります。